

ふるさとスマホ協定までの経過は



佐藤 博 議員

議員 11月19日の上毛新聞に「下仁田町スマホ全戸貸与」と大きく報じられ驚いた。両社との協定までの経過を。

健康課長 平成27年7月

28日に地方自治体向けのスマートフォンを活用した取り組みの合同発表があり、ふるさとスマホ(株)に照会した。

9月4日にふるさとスマホ(株)の杉山取締役が来庁。

10月7日の会議で共同呼びかけ人になってほしい旨の依頼を受けた。

11月4日に、ふるさとスマホ(株)杉山取締役とCCCモバイルの服部社長、イケダ事業戦略部マネジャー及び株式会社・ジャパン

議員 疑問だ、慎重にやるべき。議会に説明もせずに急ぐ内容か。
町長 いとまがなかった。議事を軽視しているとは毛頭考えていない。

議員 下仁田小学校が保護者宛てのメールを送信している、ご存じか。

教育長 学校から各保護者に緊急の連絡等を一齐に伝わるようになっていた。メールを受け取ることの同意をした保護者のみだが、全員かと記憶している。

議員 下仁田小学校では、平成24年からメールの送信をしている。保護者のほぼ全員が登録している。スマホに限らず、ガラケーでもOK。保護者の皆さんに喜ばれている。計画のTポイントを除けば、この制度の応用で十分。商業協同組合のポイントカード事業との対応は。

町長 我々としては今申し上げられませんが、今後において検討していく。

議員 疑問だ、慎重にやるべき。議会に説明もせずに急ぐ内容か。
町長 いとまがなかった。議事を軽視しているとは毛頭考えていない。

議員 下仁田小学校では、平成24年からメールの送信をしている。保護者のほぼ全員が登録している。スマホに限らず、ガラケーでもOK。保護者の皆さんに喜ばれている。計画のTポイントを除けば、この制度の応用で十分。商業協同組合のポイントカード事業との対応は。

町長 我々としては今申し上げられませんが、今後において検討していく。

議員 マスコミに報道しておいて責任は。

議員 疑問だ、慎重にやるべき。議会に説明もせずに急ぐ内容か。
町長 いとまがなかった。議事を軽視しているとは毛頭考えていない。

副町長 Tポイントか、スクラムカードか等、実証事業の中で決めていく。

議員 参加申し込みが10月7日、協定までに1カ月半もあった。いとまがないことはない。その間に議会に説明もない。協定書の協定日の記入がない、協定者の住所がない。協定者の印鑑もない。基本中の基本と思うが、こんな協定書でも有効とお考えか。

町長 サインするとき、日にちが入っていないと申し上げたら、後日、協定という形でそれぞれのところに再度伺うという話であり、そのとおりに日にちのないものにサインした。

議員 有効かという質問でした。12月の補正予算に計上されていないが。

町長 間に合わないだろうという結論。

議員 マスコミに報道しておいて責任は。

議員 疑問だ、慎重にやるべき。議会に説明もせずに急ぐ内容か。
町長 いとまがなかった。議事を軽視しているとは毛頭考えていない。

議員 疑問だ、慎重にやるべき。議会に説明もせずに急ぐ内容か。
町長 いとまがなかった。議事を軽視しているとは毛頭考えていない。

議員 マスコミに報道しておいて責任は。

議員 疑問だ、慎重にやるべき。議会に説明もせずに急ぐ内容か。
町長 いとまがなかった。議事を軽視しているとは毛頭考えていない。

町長 報道に関して言えば、深くおわびさせていたいただきたい。

協定先の身体検査(調査)は

議員 協定相手の調査は。していない。

議員 調査をしていない。当事者と協定を結んだ。やめるべき。

町長 協定で契約ではない。

議員 議会に話なく協定締結、「前には進めず、後にも引けず、簡単に逃げられず」ですね。業者とはどんな関係にあるのかお聞きしたいぐらいです。パフォーマンス政治は即刻やめていただきたい。格安スマホ企業は200から300もあるそうです、1社のみならず、他の情報も得て、しっかり検討されていい判断をお願いしたい。



上毛新聞 11月19日掲載